

ぎゅう 牛どん

動画リンク：<https://youtu.be/KiCmrZ87zGM>

今回は「牛どん」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) になり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

私の名前は山田あきです。日本の高校生です。好きな食べ物はたくさんありますが、とくに牛どんが大好きです。

牛どんをはじめて食べたのは、小学生のときでした。その日は、かぞくといっしょに町に出かけて、買い物をしたあと、おなかがすいて近くの牛どんのお店に入りました。

お店の中は、肉のいいにおいがしていました。私は「ふつうの牛どん」をたのみました。おわんの中には、あたたかいごはん、あまから肉とたまねぎがのっていて、とてもおいしかったです。

一口食べると、肉がやわらかくて、ごはんとてもよくあって、私はすぐに牛どんがすきになりました。それから何回も、かぞくや友だちと牛どんを食べに行きました。

とくに、いそがしいときやつかれたときに食べると、心も体も元気になります。あたたかくて、やさしい味の牛どんは、私にとって、大切な食べ物です。

■牛どんはどんな食べ物？

牛どんは、日本でとても人気のある食べ物です。どんぶりの中に、白いごはんが入っています。その上に、うすく切った牛肉と、たまねぎがのっています。

肉とたまねぎは、あまくてしょうばいタレでにっています。このタレには、しょうゆやさとうが入っていて、日本の食べ物の中ではとてもよく使われる味です。日本ではこのような味を「あまからい」と言います。

牛どんは、あたたかいごはん、あたたかい肉のりょうりがいっしょになった食べ物です。とてもいいおいで、食べる前からおなかがすいてきます。肉のにおいとたまねぎのあまおいがまざって、とてもいいにおいがします。

ぎゅうにく 牛肉はやわらかくて、くち い 口に入れますとすぐにとけるように感じます。たまねぎもやわらかく なっていて、にく にく 肉といっしょに食べるととてもあいます。ごはん にごはん にごはん タレがしみこんでいる ので、さいごまでおいしく た た 食べられます。 にほん ひと がいこく ひと 日本の人にとっても、外国の人にとっても、こころ 心とおなか があたたま る た もの 食べ物です。

■どこで食べられるの？

ぎゅう 牛どんは、いろいろなお店で食べることができます。にほん 日本 のまち 町をあるいていると、「ぎゅう 牛ど ん」のかんばんをよく み み 見かけます。とくに、えき 駅 のちか 近くやひと 人の多いまち 町の中 中にたくさんあ います。

ぎゅう 牛どんのお店には、いくつかのゆうめい なまえ 名前があります。

・すき家
ひとつめ は「すき家」です。すき家 は、いろいろなトッピングが できることがとくちょうで す。たとえば、チーズやたまごをのせたり、からいソースを かけたりすることができます。

・吉野家
ふた 二つめ は「吉野家」です。吉野家 は、とても古いお 店で、ひゃくねんいじょう 百年以上のれきし があります。ぎゅう 牛どんの味は、むかしからかわらず、とてもシンプルで、日本 の人 に人気 です。

・松屋
みつ 三つめ は「松屋」です。松屋 では、ぎゅう 牛どんを たのむ と、みそしるがむりょうで ついてきま す。さらに、ていしょく 定食とよばれる、おかず とごはん、みそしる のセットも にんき 人気 です。

ぎゅう 牛どんのお店 は、まち 町の中 中にたくさんあ るので、すぐに見つけることができます。お 店の外 には、メニューの しゃしん 写真や、ねだん が大き かくかいてあ ることが多 いです。はじめてのひと 人でも、わかりやす く、入りやす いお 店です。

■いろいろなトッピング

ぎゅう 牛どんは、そのままでもおいしいですが、トッピングをのせると、もっと たの 楽しめます。ト ッピングとは、りょうり 料理 のうへ 上にのせる「つかの た もの 食べ物やソース」のことです。お 店には、い ろいろなトッピングがあ います。

・たまご
ひとつめ は「たまご」です。たまご をぎゅう 牛どんにのせると、あじ 味がまろやか になります。生の た まごをそのままのせることもあれば、「おんせんたまご」を えらべる お店 もあ います。「おんせんたまご」は、ひくめのおん どで ゆっくり火を通した、しろみ がやわらかく 黄身 がとろ っとしたたまご です。

・べにしょうが

二つ目は「べにしょうが」です。赤くしたしょうがで少しすっぱい味がします。肉のあまい味とよくあいます。

・七味

三つ目は「七味」です。七味は、いくつかのからいこなを混ぜた物です。牛どんに少しかけると、ピリツとしたからさがくわわって、味が変わります。

このように、牛どんは、自分の好きな味にかえることができます。人によって、好きなトッピングはちがいます。トッピングをえらぶのも、牛どんを食べる楽しみの一つです。

お店によって、トッピングのしゅるいもちがいます。チーズやねぎ、長いもや山いもをすりおろした「山かけ」など、めずらしいトッピングもあります。何度かお店に行って、いろいろな味をためしてみるのもいいかもしれません。

■安く、早いのがうれしい

牛どんは、ねだんが安く、出てくるのも早いので、とてもべんりな食べ物です。牛どん一杯のねだんは、400円から600円くらいです。お店によって、少しちがいますが、たいてい500円くらいで食べることができます。

ファストフードと聞くと、ハンバーガーやポテトを思いうかべる人もいますが、日本では、牛どんもファストフードの一つです。

いそがしい人にとっては、これはとてもありがたいことです。たとえば、仕事の前に少しだけ時間があるとき、牛どんをさっと食べることができます。昼休みのときにも、時間を気にせずに食べられます。

また、お金があまりない学生や一人ぐらしの人にとっても、牛どんは強い味方です。おなかいっぱいになるのに、安いねだんですむからです。

牛どんのお店の中には、自分で注文できるタッチパネルがあるところが多いです。店員をよばなくていいので、まつ時間がみじかく、すぐに食べられます。

このように、牛どんは「安い」「早い」「かんたん」に食べられる、日本のべんりな食べ物なのです。

■外国人も楽しめる？

牛どんは、日本の人だけでなく、外国から来た人にも人気があります。日本に旅行に来た人の中には、「はじめて食べた日本の食べ物が牛どんでした」という人もいます。

牛どんのお店には、外国語のメニューがおいてあることが多いです。たとえば、英語や中国語、韓国語などで書かれたメニューがあります。料理の写真を見てたのめようになっているので、日本語がよくわからなくても安心です。

お店の人もやさしく、ゆっくり話してくれたり、料理についてせつめいしてくれたりします。自分でタッチパネルを使って注文できるお店もあるので、はじめてでもかんたんに食べられます。

また、牛どんは、日本のどこでも食べることができます。東京や大阪だけでなく、小さな町にもお店があります。日本のいろいろな場所で、牛どんを楽しむことができます。

私の外国人の友だちも、牛どんが大好きです。いっしょにお店に行って、ちがうメニューをえらんで、味のちがいを楽しむこともあります。いっしょに食べると、会話はずみま

す。

このように、牛どんは言葉や国のちがいをこえて、だれでも楽しめる食べ物です。

■牛どんで楽しい時間を

牛どんは、食べ物としてだけでなく、楽しい時間を作ってくれる物でもあります。みんなですきなメニューをえらんだり、トッピングをくらべたりすると、会話がふえて気分も明るくなります。

牛どんのお店は、早くて、安く、楽しく入れるのがよいところです。24時間えいぎょうのお店も多いので、朝早くても夜おそくても食べられます。学校の帰りに立ちよったり、仕事の前や後にさっと食べたりできて、一人でもグループでも楽しめます。

牛どんは、日本のファストフードの中でもとくに日本らしさがある食べ物です。あついで、しょうゆとだしの味がしみた具がのっていて、シンプルなのに満足感があります。日本の食文化がぎゅっとつまっています。

牛どんを通して、日本の食べ物だけでなく、人とのつながりやくらしもかんじられます。お店にはカウンターせきがあって一人でも入りやすく、持ち帰りができるところも多いです。サイズやトッピングをえらべる店もあるので、自分のこのみにあわせて楽しめます。

牛どんは、心も体もあたたくしてくれる、そんな食べ物だと思います。

「牛^{ぎゅう}どん」はいかがでしたか。
コメント欄^{らん}から感想^{かんそう}をみんなに教^{おし}えてください。
それでは、また別^{べつ}の動画^{どうが}でお会^あいしましょう。



Easy Japanese listening SUSHI

